



大阪ガス

ガスたこ焼器

取扱説明書 12-035-045型

保証書付

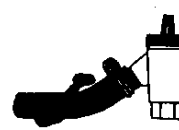
型式名 KB-40

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

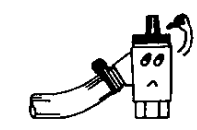
本社ガスビルサービスセンター	☎641	大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪06(202)2221
南支社	☎557	大阪市西区玉出東2丁目9番41号	☎大阪06(652)0001
北支社	☎632	大阪市淀川区十三本町3丁目8番35号	☎大阪06(301)1251
堺支社	☎590	堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺0722(38)1131
北摂支社	☎568	高槻市藤の里39-6	☎高槻0726(71)0361
阪神支社	☎652	西宮市和上町4番11号	☎西宮0798(26)3101
東部支社	☎578	東大阪市船場2丁目3番17号	☎河内0729(82)1131
京阪支社	☎573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚方0720(41)1251
神戸支社	☎650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸078(576)5231
京都支社	☎604	京都市中京区烏丸御池船場町358	☎京都075(231)8151
奈良支社	☎631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良0742(44)1111
和歌山支社	☎640	和歌山市本町1丁目1	☎和歌山0734(31)2481
姫路支社	☎670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路0792(85)2221
東播支社	☎675	加古川市加古川町東津29の1	☎加古川0794(21)1801
豊岡支社	☎668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡07962(3)2221
瀬南支社	☎625	姫津市追分町字荒尾680の1	☎草津0775(62)5311
彦根支社	☎622	彦根市大東町9番41号	☎彦根0749(22)3131
(長浜営業所)	☎626	長浜市南浜町3番4号	☎長浜07496(2)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
元せんも閉
める習慣を



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスたこ焼器をお求めいただき、ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

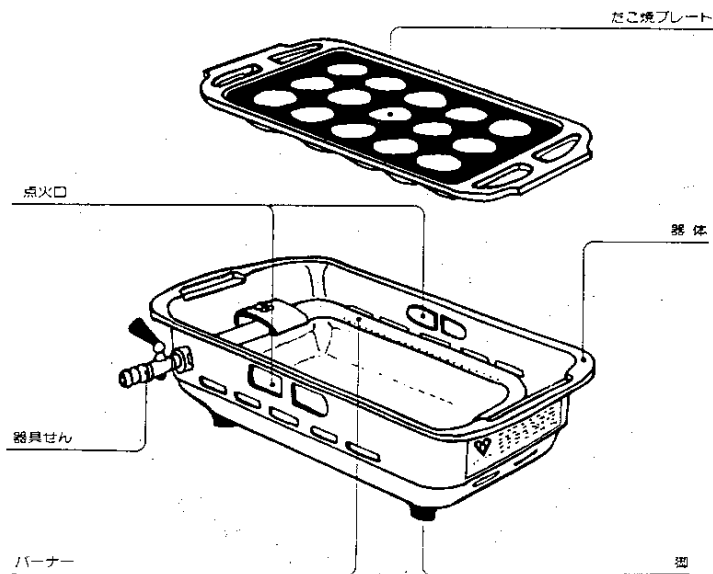
- 各部の名称 2
- 特に注意していただきたいこと 3
- 器具の設置 8
- 使用手順 9
- 使用時のご注意 10
- 日常の点検・手入れ 11
- 故障・異常の見分け方と処置方法 13
- アフターサービスのお申し込み 14
- 本製品と快適なくらしのために 15
- 寸法図と仕様一覧表 17
- メモ 18

各部の名称

外 観



構 造



●付属品

かえし針



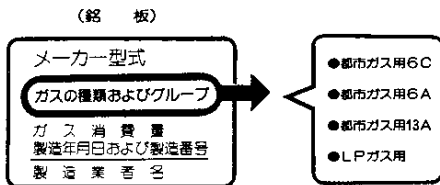
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。

器具せんの左側面にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。



- ・ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- ・転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

用途についてのご注意

- 調理以外の用途には使用しないでください。

過熱・異常燃焼などによる焼損、火災などの危険があります。

特に注意していただきたいこと ②

市販の補助用具使用についてのご注意

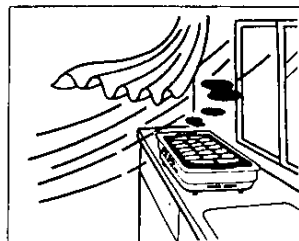
- 専用のたこ焼プレート以外は使用しないでください。

上面をおおうような使用方法は、不完全燃焼をおこしたり、器具を異常に過熱し危険です。



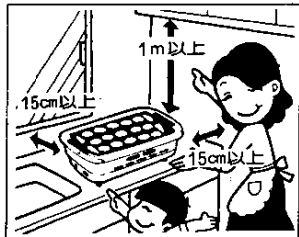
使用場所についてのご注意

- 強い風の吹き込む所では使用しないでください。
ほのおが風で吹き消えることがあります。
- 棚の下など、落下物の危険のあるところでは使用しないでください。



- ガスたこ焼器をお使いになる周囲が木材のような可燃性の壁面の場合は、過熱を防ぐため左右および後面ともに15cm以上、上方は1m以上離してお使いください。

また高級なテーブルなどは表面がニス仕上で熱など、よわい仕上の場合がありますのでその上での使用はおさげください。



使用上のご注意

ガス漏れ予防

●ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。

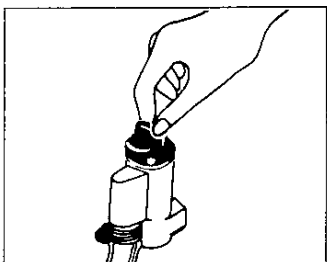
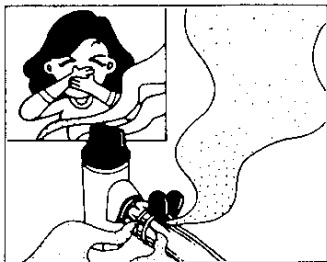
●ゴム管は良質のものを買い、時々とりかえてください。(おとりかえの目安は約3年です。)

ゴム管が古くなりますと、元せんや器具のゴム管口から抜けやすくなったり、ヒビ割れてガス漏れの原因になり危険です。

●使用中にはときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

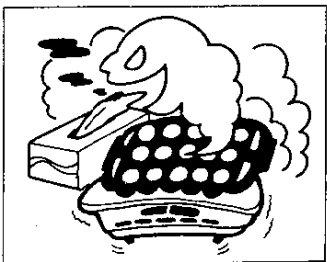
●器具をご使用にならないときや外出前、またおやすみ前には万一の事故がないように、必ず元せんをしめてください。

●使用後は必ず器具せんを閉じ、消火したことを確かめてください。

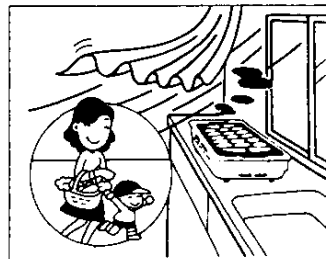


火災予防

●器具の上やそばに燃えやすいもの(紙、カーテン、家具、揮発油など)を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。

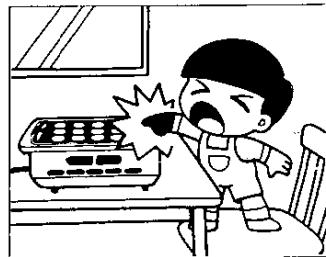


●火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。



やけどのご注意

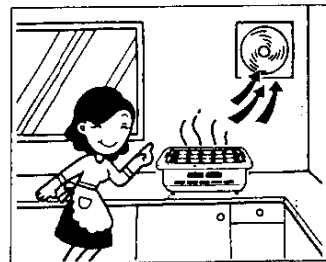
●ご使用中および使用直後は、器具とその周辺は熱くなりますので、手を触れたり移動させたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。



●ご使用中にたこ焼プレートを取扱うときは、特にご注意ください。ぬれふきなどで持つと蒸気が出てやけどするおそれがあります。

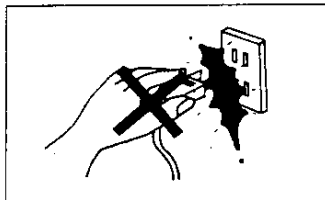
換気のご注意

●ご使用中はときどき換気扇を回すなど換気にご注意ください。ガスが正しく燃えるためには、ガスの6~10倍もの空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。



ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんに閉じ、窓や戸を全部あけて、大阪ガス会社または大阪ガスサービスステーションに連絡してください。



〈ご注意〉

万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具にふれたりしないでください。スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなどで火や火花より引火し爆発事故を起こすことがあります。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止（器具せん、ガス元せん閉止）して十分な点検をお願いします。

〔故障・異常の見分け方と処置方法については13ページをお読みください〕

日常の点検・手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ずおこなってください。（詳しくは11～12ページをお読みください）
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。
- 万一具合が悪くなって処置に困るような場合、お買い求めの販売店または大阪ガス会社にご連絡ください。

器具の設置

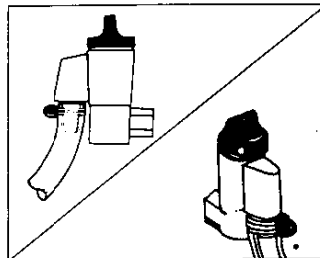
設置前の準備と確認

- 各部分のあて紙や包装部品を取り除き、「各部の名称」のように正しく組立ててください。
- 器具銘板の表示ガス（ガスグループ）とご使用になるガスとが一致しているかご確認ください。

ゴム管の接続

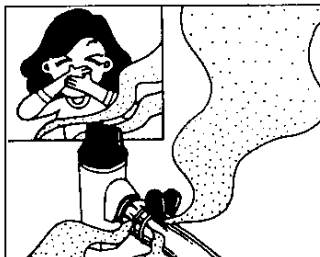
- ゴム管は赤線までさしこんでしっかりとめてください。

9.5mmφ（内径9.5mm）のゴム管を使用し、お部屋の元せん、器具せんともゴム管口の赤線まで十分さしこんで、ゴム管止めでしっかり止めてください。

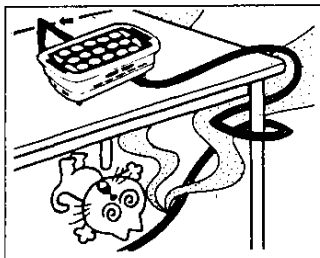


- ゴム管は良質のものを使い、ときどきとりかえてください。

ゴム管が古くなりますと、元せんや器具せんから、抜けやすくなったり、ヒビ割れて、ガスもれの原因になり危険です。（おとりかえの目安は約3年です）



- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないように、できるだけ短かくし、また器具の下を通したり、器具に触れたりしないようにしてご使用ください。



使用手順

はじめてお使いのとき

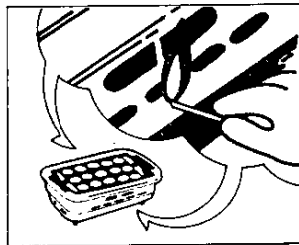
- はじめてお使いになるときは、2～3回油をなじませてからご使用ください。

点火前の準備と確認

- 器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いていないことを確認してください。
- 器具せんつまみが「止」の位置にあることを確認したのち、ガス元せんを全開にしてください。

点火

- 点火口よりバーナーにマッチの火を近づけ、器具せんつまみを「右」の方へ回しますと点火します。2本のバーナー共、点火したことを確かめてからご使用ください。
前後にある点火口から2本のバーナーに確実に点火してください。
- はじめて点火するときは配管中（ゴム管内）に空気が入っていて点火しにくいことがあります。この場合は空気が抜けるまで数回点火操作を繰り返してください。

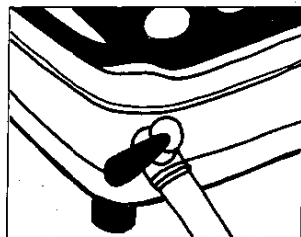


火力調節

- 通常使用状態では器具せんつまみは全開でお使いいただけますが必要に応じて器具せんつまみを回し適当なほのおに調節してください。

消火

- 器具せんつまみを「左」の方へ止まるまでまわすと消火します。

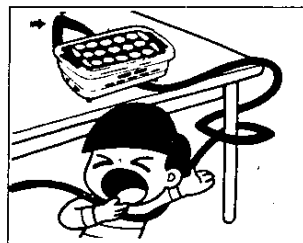


使用時のご注意

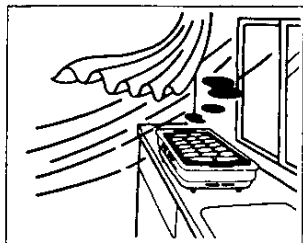
- 点火の際は、前後のバーナー共全部の炎口に点火したことを確かめてください。



- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないように、できるだけ短かくしてご使用ください。ゴム管を長くしますと足に引っかかたりして、たいへん危険です。
また器具の下を通したり、器具に触れたりしないようにしてご使用ください。



- 家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶんに離してください。
器具を窓ぎわにおくと、長いカーテンを使っている場合、風で吹かれたときからみつぎ、火事の危険があります。



- 使用中、消火直後は器具の温度が高く、やけどのおそれがありますので、手を触れたり、移動させたりしないでください。



日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店または大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常を見つけれられたときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社に修理を依頼してください。
- 点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてからおこなってください。



点 検

- 安全にお使いいただくためにときどき点検してください。
- ・ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具せんおよびガス元せんともゴム管口の赤線まで十分差し込み、ゴム管止めで止めてありますか。
- ・ゴム管が器具に触れたり、折れたり、ねじれたりしていませんか。
- ・ゴム管が古くなってひび割れしたり、ゴム管口がゆるんでいるためガスがもれていないか、ときどき石けん水などで点検してください。
- ・器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものを置いてはいませんか。
- ・たこ焼プレートが正しくセットされていますか。
- ・バーナーの炎孔が目づまりを、おこしていませんか。

長期間使用しない場合

- 各部の汚れを取り除き、十分に乾燥したのちほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分（ゴム管口など）にほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。

日常の点検・手入れ ②

お 手 入 れ

- お手入れのとき、器体内部に水がかからないようにご注意ください。

そ の つ ど

●たこ焼プレート

- ・そのつどお手入れしていただくのがいちばんです。ご使用後は、汚れをふきとり油をぬって保管してください。

●器体

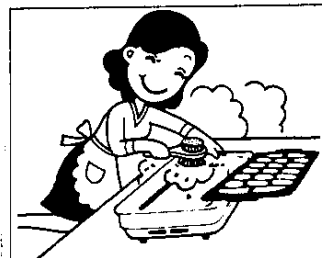
- ・煮こぼれなどの汚れは湿った布でふきとってください。なおとれにくいときは、液状の洗剤を布にふくませて汚れを落としてください。

いずれの場合もお手入れ後は乾いた布で十分に水気をふきとってください。

と き ど き

●バーナー

- ・バーナーは水洗いをしないで硬いブラシでよごれを落してから細い針金またはキリなどで、炎口の掃除をしてください。バーナーを目づまりさせたまま使用しますと、不完全燃焼をおこすことがあります。
- ・バーナーの水洗いはやめてください。中がさびる原因になります。



- ・熱のためバーナーの一部が変色することがありますが、性能や耐久性には影響ありませんので、そのままお使いください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

原因	現象							処置方法	参照ページ
	点火しない・点火しにくい	着火(火移)しない	ほのおが安定しない	黄炎で燃える	消火しない	異常な音をたてて燃える	ガスのおいがする		
ガス元せんの開け忘れ	○							ガス元せんを開ける	9
ゴム管が折れている	○						○	ゴム管の折れをなおす	8
ゴム管内に空気が残っている	○	○	○				○	点火操作を繰り返す	9
器具せんつまみの開き不十分	○	○						器具せんつまみを全開にする	9
ノズルの詰まり	○	○		○			○	点検・修理を依頼する	14
空気吸引部にほこりが詰まっている				○				点検・修理を依頼する	14
バーナーの腐食・炎口の詰まり	○	○	○	○		○		バーナー・炎口を掃除する	12
器具せんつまみの故障	○	○			○		○	点検・修理を依頼する	14
ゴム管のひび割れ・穴あき							○	ゴム管を交換する	8
ゴム管の接続不足							○	ゴム管の接続を確実にする	8
ガス元せんの損傷	○						○	点検・修理を依頼する	14
炎口に水がガガっている	○	○	○					水分をふきとる	12
ガスがノズル部分で燃えている				○		○		一度ガスを止め再点火する	9

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 13ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見て、もう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- ①品名……ガスたご焼器
 - ②品番……器具せんの左側面に貼付してあります。
- (例)

(4)12-035(U)

大阪ガス株式会社 **06**

- ③現象……(できるだけ詳しく)
- ④道順……(できるだけ詳しく)

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類、およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- この器具には保証書がついています。このガスたご焼器は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

本製品と快適なくらしのために



たこ焼の材料と作り方の一例

材 料 60個分

小麦粉（薄力粉）	200g（2カップ）
片栗粉	30g（ $\frac{1}{2}$ カップ）
卵	2個
塩・化学調味料	少々
水（お好みによってだし汁）	700cc
たこ（中程度）	200g
ねぎ	2本
紅しょうが	1カケ
揚げ玉（天カス）	カップ $\frac{1}{2}$ 杯
サラダオイル	少々

青のり
とんかつソース
だし汁（インスタントでもよい）

お好みにより
使いわけてください。

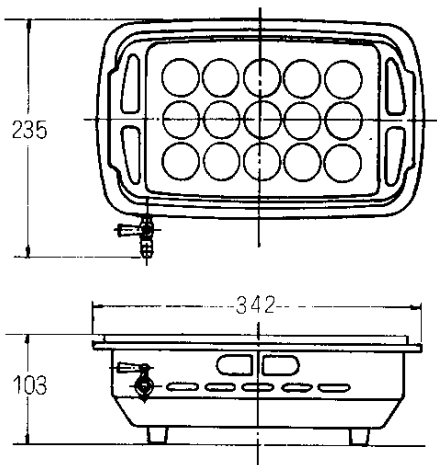
本製品と快適なくらしのために②

作り方

1. 紅しょうがは、みじん切りでお皿に入れておきます。
2. たこは塩ゆでにしたものを、5～10mm程度のさいの目切にしてお皿に盛ります。
3. 生地は小麦粉、片栗粉、卵、塩、化学調味料、水をボールに入れてだまのないよう混ぜ合わせます。
4. 以上のように準備しておいて、たこ焼プレートにサラダオイルをぬり、生地を流し込み、たこ、ねぎ、紅しょうが、揚げ玉（天カス）を入れ、かえし針でひっくりかえし、円形に形を整え焼き上げます。
※※ポイント
 片栗粉がしずみまでするので、流し込む前によくかきまぜてから、流し込むのがコツです。
5. 表面がきつね色に焼き上がったら、だし汁風かソース風（青のりをふりかける）がお好みによりお召し上りください。

寸法図と仕様一覧表

●外形寸法図



●仕様一覧表

品名	ガスたこ焼器	
形式名	KB-40	
品番	12-035(U)・045(U)	
使用ガスおよび 使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量	
都市ガス	6C	800kcal/h(0.19m ³ /h)
	13A	800kcal/h(0.08m ³ /h)
	6A	750kcal/h(0.11m ³ /h)
LPガス用	0.069kg/h	
点火方式	マッチ点火	
外形寸法(高さ×幅×奥行)	103mm×235mm×342mm	
重量	2.6kg	
ガス接続	内径9.5mmφガス用ゴム管	

メモ

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを閉め、窓を全開してから
(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスステーションにご連
絡ください。